

環境教育揭示用教材 指導資料

環境教育揭示用教材は、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、私達を取り巻く環境に着目し、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的として作成した教材です。

本指導資料では、環境教育揭示用教材の授業等での活用例を紹介します。

環境教育揭示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることをやってみましょう。

私達も生き物も共に住みよい自然豊かな街づくり

①表題



②ねらい

身近な生物と人間が共存する持続可能な自然環境を保全しようとする意欲を育成する。また、東京都の生物多様性と自然環境の課題を理解し、住みよい自然豊かな街づくりと持続可能な地域づくりへの取組を考える。

③環境教育で対象とする主な内容 (ESDの構成概念)

資源の循環(相互性)、自然や生命の尊重(多様性・公平性)、生態系の保全(相互性・責任性)、エネルギーの利用(多様性・相互性・有限性・責任性)、生活様式の見直し(責任性) ※環境教育指導資料 P8、P9 参照

④主なSDGsとの関連

【SDGs11】住み続けられるまちづくりを(小学校・中学校共通テーマ)
 【SDGs6】安全な水とトイレを世界中に、【SDGs7】エネルギーをみんなにそしてクリーンに、【SDGs12】つくる責任 つかう責任、【SDGs13】気候変動に具体的な対策を、【SDGs14】海の豊かさを守ろう、【SDGs15】陸の豊かさを守ろう

⑤主な活動

活動内容(○主な活動)	教師の支援(◇留意点)	◆揭示用教材等との関連
○揭示用教材①を見て、自然の大切さについて話し合う。 ○揭示用教材②を見て、自然が失われつつあることによる身近な場所での影響を話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">生物多様性と豊かな自然を守る暮らし方</div> ○揭示用教材③を見て、生物多様性と人間社会の活動の関係を学級全体で話し合う。 ○揭示用教材④を基に、東京都内の外来生物や絶滅の危険性が高い動植物について個人やグループで調べ、学級全体で話し合う。 ○揭示用教材⑤を参考に、自分にできることを考える。 ○気付いたことや感想を発表する。	◇人間社会に与えられる自然の恵みについて伝える。 ◇身近な場所で、自然が失われつつあることによる影響が出ていることに気付かせる。 ◇イラストを参考に、生物多様性と自然保全を理解させ、人も様々な生き物も共に住み続けられる街づくりのために、私達にできることを考えさせる。 ◇イラストを参考に、東京都にも外来生物や絶滅の危険性が高い動植物がいることを理解させる。 ◇自分の住む街を自然豊かにするために、自分にできることを考えさせる。 ◇児童一人一人が地球環境保全につながる生活を心掛ける必要があることに気付くよう、活動を振り返らせる。	◆揭示用教材① ◆環境教育指導資料 P34～ ◆揭示用教材② ◆ワークシート① ◆揭示用教材③ ◆揭示用教材④ ◆ワークシート② ◆揭示用教材⑤ ◆ワークシート③

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。
 ※東京都教育委員会ホームページで、環境教育指導資料及び本揭示用教材のイラストや図表等を公開しており、拡大して授業等で活用できます。



かんきょう
環境問題について調べて、自分にできることをやってみましょう。

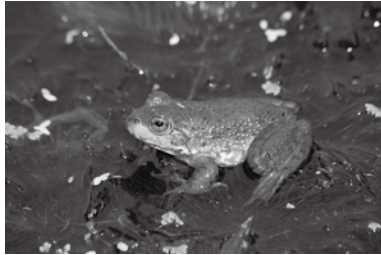
わたしたち
私達も生き物も共に住みよい自然豊かな街づくり

年 組 名前

- ① 「^{ゆた}豊かな自然」が失われつつあります。身近な場所で気付いたことを話し合ってみよう



- ② 外来生物や東京都レッドリストを調べてみよう



- ③ 自分達にできることを考えてみよう

